

おけのこ

どんこのぼり (犬飼 どんこ釣り大会)

2019年 第1回 定例県議会

激甚化する自然災害や、子ども・子育て支援等への対応。ラグビーW杯の成功に向けた取組

おおいた創生の確実な前進を



「骨太」の予算編成
今議会で編成された当初予算は、知事選挙を前にした「骨格予算」とは言え、頻発・激甚化する自然災害への対策や、子ども・子育て支援などのほか、ラグビーW杯の関連予算も組み込まれています。

今任期の満了を前に、五回目となる貴重な一般質問の機会を得て、今後編成される「本格予算」に反映すべく、全九項目に関して質問・政策提言を行いました。(内容の一部を裏面に掲載)

二月二十五日に開会した二〇一九年第一回定例県議会は、三月十五日に上程議案の採決が行われ、十九日間の会議日程を終えました。

時代節目を迎え、明るく強い大分県づくりに果敢に挑み、おおいた創生を確実に前進させ、成果をさらけに積み重ねていかなければなりません。

時代の節目を迎え、創生へ果敢に挑戦を

これら喫緊の課題については、年度当初から切れ目なく執行できるよう予算化されました。この様に、予算総額は五千八百十五億七千九百万円と、前年度と比較して五・七%のマイナス予算ですが、各事業(下欄にて一部抜粋して掲載)の内容を見たとかなり「骨太」の予算だと言えます。

2019年度予算と事業概要

1. 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県

1. 災害に強い社会づくりと県土の強靱化による防災力の強化(26事業)

①防災モニター活用推進事業
災害時の情報提供の充実を図るため、防災情報アプリ等の機能を活用し、県が選定した防災モニターからの災害情報を収集・発信する。
【11,205千円】

②地震・津波等防災・減災対策推進事業
災害に強い人づくり・地域づくりを図るため、市町村が行う地域の防災活動や避難所の機能強化等に要する経費に対し助成する。
【50,000千円】

2. 子育て満足度日本一の実現(25事業)

①おおいた出会い応援事業
若者の結婚の希望を後押しするため、「出会いサポートセンター」を運営し、市町村、民間団体、企業等と連携した出会いの場づくり等を総合的に実施する。
【36,351千円】

②おおいた子育てほっとクーポン利用促進事業
子育て世帯の負担を軽減するため、様々なサービスに利用できる「おおいた子育てほっとクーポン」を出生時に配布する。(第4子以降の配布上限「3万円」を廃止)
【76,509千円】

3. 健康寿命日本一の実現(17事業)

①受動喫煙防止対策事業
2020年4月から、多数の者が利用する施設等において喫煙専用室以外での屋内喫煙が原則禁止される。望まない受動喫煙を防止するため、飲食店等に対して適切な対策が講じられるよう促すほか、禁煙に取り組む事業所を支援する。
【9,645千円】

4. 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進(9事業)

①教育庁ワークセンター設置運営事業
障がいのある特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、教育庁内にワークセンターを設置し、卒業生を一定期間雇用し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。
【8,841千円】

5. 移住・定住の促進(8事業)

①ふるさと大分UIJターン推進事業
本県への移住を促進するため、エリアごとにターゲットを定め、それぞれの特徴に応じた情報発信等の取組を強化する。
【135,412千円】

2. いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県

1. 多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保(24事業)

①ナイトタイムエコノミー活性化事業
インバウンド等による消費拡大を図るため、観光関連産業の夜間営業拡大に対応した公共交通機関及び観光案内サービスを確保するとともに、経済効果を検証する。
【19,879千円】

②外国人総合相談センター設置事業
在留外国人が生活・就労等に関する適切な情報を取得できるようにするため、情報提供・相談等を行う一元的窓口を設置する。
【20,000千円】

2. 人を呼び込む地域が輝くツーリズムの推進(18事業)

①国際航空路線誘致・拡充促進事業
韓国路線の安定的な運航継続とさらなる増便を実現させるため、運航支援及び利用促進対策を強化する。将来、定期便の運航が期待さ

2期目の県政へ



たいへん厳しい道程でしたが、新時代を迎える県議会へ引き続き参画することができました。今後も、加速化する人口減少への対策はもろろん、頻発する自然災害にも万全の備えが必要で、また、ラグビーW杯の開催を好機とし、大分の魅力・活力をさらに発展させなければなりません。これからの未来(あす)への大分のため、研鑽・努力してまいります。
※公選法の規程により選挙の御礼を記載できません。お許しください。

れる韓国以外の国際航空路線について、チャーター便の運航を働きかけ、新規路線の誘致に取り組む。

【65,906千円】

3. 海外戦略の推進(4事業)

①海外戦略加速化事業
アジア、特にASEAN諸国の成長を取り込み本県産業の活性化を図るため、海外戦略に基づくターゲット国・地域ごとにプロモーション等を実施するとともに、留学生や県人会等とのネットワークづくりを強化する。
【24,127千円】

3. 人を育み基盤を整え発展する大分県

1. スポーツの振興(5事業)

①ラグビーワールドカップ開催事業
ラグビーワールドカップ大分開催を成功に導くため、県推進委員会が行う観戦客の円滑な輸送をはじめ、機運醸成の取組やファンゾーンの企画・運営等に要する経費を負担する。
【1,895,455千円】

2019年第1回 定例県議会 一般質問・答弁

詳細はHPから [大分県議会](#) 検索

三月六日、本年第一回定例県議会にて、私は次の九項目に関する一般質問を行いました。

- 〈質問項目〉
- 一、人口ビジョンの現状と対策について
 - 二、国際線の誘致について
 - 三、「日本一安全な大分県」について
 - 四、警察活動における通訳業務体制
 - 五、県立高校の魅力向上について
 - 六、国際バカロレア認定の全国募集
 - 七、地震対策について
 - 八、液化化対策
 - 九、津波からの避難

一、人口ビジョンの現状と対策について

(木田) 本県の人口ビジョンで示された将来展望と現状を比較してみますと、まず自然増の指標である合計特殊出生率については、二〇三〇年に県民の希望出生率である二・〇程度とする将来展望を示しています。

策定当初は順調な伸びを示したものの、二〇一七年は一・六一と前年から〇・三ポイント減少しており、楽観できない状況にあり

ります。次に、大都市等への人口の流出による社会減についてであります。

二〇二〇年までに人口の流出による社会減のマイナスをゼロとする将来展望に対し、二〇一八年の大分県の人口推計報告ではマイナスイクサスと、二〇一五年のマイナスイクサス一八五四人から悪化しており、人口流出に歯止めが掛かっていない現状にあります。

そこで伺います。本県の人口ビジョンに対する現状をどのように認識し、人口減少に歯止めを掛けるためどのような戦略を描いているのか、知事の考えをお聞かせください。



(答弁・知事) 昨年十一月一日の本県の人口は、一四万二九四三人となり、一年間で八九一〇人減少しました。人口ビジョンの目標は一一五万九四七人であり、ビジョンの人口減少カーブを八千人ほど下回っています。

自然減対策では、合計特殊出生率は一・六台を維持していますが、ビジョンの目標である二・〇三年の二・〇には、まだ隔たりがあります。

「子育てはもっとクーポン」の第四子以降の上限を撤廃し、多子世帯への支援を拡充するなど、子育て満足度日本一の取組を強化します。

また、出会いから結婚までを総合的かつきめ細かく

に支援する「出会いサポートセンター」を設置しました。大変好評をいただいております。来年度は、県下一円に出向いて、登録や相談を受けていきます。

社会減対策では、転出者を抑え、転入者を増やすためには、何よりも魅力ある仕事づくりが重要です。

農林水産業の構造改革を進め、商工業や観光産業の振興を図ります。

さらに、人手不足対策として、働き方改革を進めるとともに、外国人材の円滑な受入れに向けた環境づくりに取り組んでいます。

人口減少への対策は、大変息の長い取組となります。引き続き、市町村と力を合わせながら、粘り強く取り組んでいきます。

(木田からの指摘・提案)

まずは、以前の一般質問でも指摘したとおり、高卒者の県内就職率を先進県並みに引き上げる必要がある。

「おおいたU-Jターン人材バンク」を創設し、人材を求めている県内企業とのマッチングを図ってU-Jターンを促進する手法もある。そこにインセンティブを設ければなお効果的。

Oita Prefectural Assembly
大分県議会 インターネット中継

県議会ホームページにて一般質問の中継録画を視聴できます

紙面の都合上、質問と答弁のすべてを紹介できず、申し訳ございません。なお、県議会HPにて過去分も含め、一般質問の全録画を視聴できます。
(「<http://www.oita-pref.stream.jfit.co.jp/>」 → 「議員から選ぶ」 → 「木田昇」を選択)

最近の動き

- ▷ 2019年第1回定例県議会開会
▷ 県議会広報委員会
▷ 革新的技術活用特別委員会

- 3月
▷ 連合大分春季生活闘争総決起集会
▷ 南太平洋寺県政座談会



年間を通じた議員活動に対する質問に答え、県政の抱える課題や主要施策について説明し、意見交換。

- ▷ ラグビーワールドカップ大分開催協議会
▷ 福祉保健生活環境委員会
▷ 春闘街頭宣伝行動(トキ八前交差点)



この4月から、働き方改革関連法と同時に外国人労働者の受入れ拡大を図る改正入管法が施行。「ゆとり・豊かさ」を実感できる働き方を具体化できるかが問われる。

- ▷ 2019年第1回定例県議会閉会
ご勇退なされた先輩議員の県政発展に対するご尽力に敬意と感謝を申し上げます。



- ▷ 大分県知事選挙告示
▷ 大分県議会議員選挙告示

- 1月
▷ 新年互礼会、新春懇談会、消防出初式
▷ 大分政経懇話会1月例会
▷ 中九州横断道路
大野竹田道路開通式
工事着手から約10年の歳月を経て供用開始。大分市～竹田市間の移動が約8分短縮に。
- ▷ 内外情勢調査会大分支部懇談会
▷ NPO法人大友氏顕彰会新年の集い



- 2月
▷ 第8回夢一輪運動
花を通じて感性を育み、子どもたちの未来に夢を託すプロジェクト。「夢一輪の会」のご努力に感謝。
- ▷ おおいた動物愛護センター開所式
犬・猫の飼い方教室や飼い主を探す譲渡会も開催。動物を通じ、「感じて、学んで、考える」施設。



- ▷ 南大分県政報告会
県政の課題や主要施策について説明。質疑応答を交えながら、地域の抱える課題について意見交換。



いつ起きる南海トラフ巨大地震②

今年「亥年」。過去の「亥年」を遡ると、1995年の阪神淡路大震災、1923年の関東大震災、1707年の宝永地震など大災害が発生しています。

ちなみに宝永地震は、南海トラフに起因する巨大地震で、記録に残る日本最大級の地震で「亥の大変」とも呼ばれ、大分県にも大津波が押し寄せ甚大な被害が発生しました。

県が公表している南海トラフ地震による浸水想定では、津波高1メートルの津波到達時間は、佐伯市蒲江が最も早く26分。津久見市が46分、臼杵市が51分、大分市佐賀関が50分、大分市豊海が1時間27分とされています。

なお、周防灘断層群の地震では豊後高田市香々地が13分、別府湾の地震に至っては大分市佐賀関が3分とされています。津波を伴う地震には要注意です。まずは身を守り、すぐに避難をしてください。

公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
*お友達登録のQRコードリーダーをご使用ください

県民クラブHPはコチラ
<http://www.oct-net.ne.jp/shakai-1/>

竹の子記

新たな元号「令和」とともに、新たな時代のスタートです。「平成」の三十年数カ月を振り返ると、社会は大きく様変わりしました。コンピュータは発達し、インターネットの登場で世界中の人々がつながるようになりました。▼「平成」の始まりには、パソコンや携帯電話を誰もが使うようになるのは、思いも寄らなかったことでした。(携帯電話の形も機能も随分と変わりましたね)▼「令和」の時代はどのような社会になるのか。きつと今では考えられないような事柄が、科学や情報通信技術の発達により起こることでしょう。▼しかし、いくら便利で効率的な社会になっても忘れてはならないことがあります。それは、人と人とが温もりある人情で通じ合い、助け合い、支え合いながら地域で暮らせる社会であり続けること。▼これは今回の選挙戦を通じて改めて感じたことです。新しい時代にはAIが選挙を支配するかもしれない。しかし、ロボットは選挙に立候補できませんし、候補者も人の助け合いと支え合いがなければ、とてもゴールまで走りきることはできません。▼新たな時代においても、人の温もりを感じることで、心をつなげられるよう、心新たに全力で頑張ります。